

令和 6 年度事業報告書

事業実施期間：令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

令和6年度 事業総括

生活や社会活動の急激な変化のなか、物価の急上昇は止まらず家庭や地域での福祉課題が重くのしかかり、常に何かを心配しながら生活することが続いています。福祉課題は局内で共有しながら関係機関とも協議・連携し協働で取組み、地域包括ケアシステムの構築、見守り、交流、支えあい等、地域福祉活動の推進と介護保険事業、地域包括支援センターの事業を運営し「自然とやさしさ、心ふれあう福祉の郷」の実現と地域福祉活動の啓発を行うと共に、これまでの活動への感謝の気持ちを込め「第8回東みよし町社会福祉大会」を開催致しました。

時間が掛かったとしても丁寧で諦めない相談支援を、住民の皆様と共に全職員が知恵と工夫を出し合い、今できることを精一杯実践した1年でした。慎重にかつ大胆にそして大きな熱意を持って、ご協力・ご尽力いただいた皆様、地域福祉活動を実践し「支え愛」をご提供いただき、たくさんの笑顔を広めていただいた皆様に感謝申し上げます。

重点目標総括

① 社会福祉法人として健全運営と公益的な事業の強化

物価高騰が続き経済状況が厳しいと言われる中にも関わらず、社協会費、善意銀行へご寄付を賜りました。地域福祉の中核を担う組織として、局内連携と共通認識を強化するため、夕礼、月1度の管理職会議、また新規事業に対応するため職場内研修を実施しました。

② 地域住民の参画と協働による地域福祉活動の推進

第3期地域福祉活動計画最終年も地域福祉活動推進事業に小地域福祉活動、地域の支えあいを再確認し情報共有する「さんわ会」事業等、多くの地域福祉活動が実施されました。子どもたちが安心して笑顔で集まれる場づくりでは、多くの方にご支援いただきました。

③ 総合相談・生活支援体制の確立と機能強化

受託事業である権利擁護センターをさらに強化するため、法人後見事業の準備会を実施し多くのご助言をいただき、令和7年度事業開始が整いました。これまで行ってきた日常生活自立支援事業や生活困窮者自立支援事業、心配ごと相談事業等の相談機関としての機能に加え、あと少しの支援があれば、地域や自宅での生活が可能な方への細やかな支援も、モノバンク事業として充実してきました。子育てや就労、言語の問題など幅広い支援が必要ななか、相談しやすい仕組みと関係を構築するため、SNSを使った相談受付や支援、夜間早朝の電話対応、フードバンク事業を活用した個別支援も、住民の皆様のご支援を多数いただき、計画通り実施しました。

④ 他機関との連携と情報共有の強化

社会福祉法人の連携する「東みよし町くらしサポートネットワーク会議」を実施しました。各法人が抱える困難事例等を定期的に検討し、関係機関がお互いに持ち合わせる機能を住民の方に気軽に活用いただける仕組み作りを今後も目指します。

⑤ 災害時対応力の向上

自然災害、感染症共に対応した事業継続計画を常に見直ししながら、平常業務を進めました。西部圏域災害ボランティアセンター設置運営訓練は三好市で実施され、能登半島地震での災害ボランティアセンター派遣の振り返りを行いました。幸い町内及び県内では大きな災害が発生しませんでしたので、能登半島地震後、志賀町に3名のべ21日、輪島市に1名4日間、珠洲市に1名7日間、職員派遣を行いました。

⑥ 介護保険サービスの質の向上と人材育成の強化

2か所の通所介護事業は対照的な状況であり、さざんか荘の利用回復は今後の介護保険事業の明るい兆しとなりました。しかしながらおおぐす荘は依然、目標と定めた利用率80%は叶わず赤字決算となりました。この結果は近年続いている利用者の個別支援への要望の増加、訪問介護事業への利用転換が要因です。訪問介護は利用が増加しても収支の状況が健全化することはないことから、町からの補助金を得て運営し事業を継続することが出来ました。運転資金の確保、担い手不足は今後も続く大きな課題ですが、閉鎖する事業所もあり、今後も本会への要望は高くなると考えています。

⑦ 地域包括支援センターの運営

地域包括ケアの実現に向けて、総合相談、権利擁護、個別地域ケア会議からの地域課題の抽出、介護支援専門員の資質向上、認知症への取り組み等に重点を置いたセンター運営を行いました。のびのび教室、搜索模擬訓練など、住民参加型のイベントも実施し自助力・共助力の向上を実感いただきました。

⑧ 退職世代の学び・交流・活動の場づくり

高齢者が自ら学び相互に支えあう仕組み作りと、経験や知識を活かして活動するシルバー大学校・大学院やシルバー人材センター事業を通年計画通りの事業を実施しました。

総務課

I. 理事会・評議員会・監事会の開催状況

開催年月日	会議名	審議等事項
R06/05/16	監事会	令和5年度決算監査
R06/06/06	第1回理事会	議案 ①令和5年度事業報告・決算報告・監査報告について ②令和6年度第1回補正予算について ③理事候補者の選定について ④評議員候補者の推薦について ⑤苦情解決に関する第三者委員の選任について ⑥第1回評議員会（定時評議員会）の招集について 報告 ①善意銀行の払出の申込及び戻し入れについて ②会長及び常務理事の業務執行状況について
R06/06/24	第1回評議員会	議案 ①令和5年度事業報告・決算報告・監査報告について ②令和6年度第1回補正予算について ③理事の選任について
R06/12/05	第2回理事会	議案 ①令和6年度第2回評議員会の招集（開催）について ②令和6年度第2回補正予算(案)について 報告 ①令和6年度上半期運営状況について ②令和6年度勤勉手当の支給について ③会長及び常務理事の業務執行状況について ④善意銀行払出申込について
R06/12/05	第2回評議員会	議案 ①令和6年度第2回補正予算(案)について 報告 ①令和6年度上半期運営状況について ②令和6年度勤勉手当の支給について ③会長及び常務理事の業務執行状況について
R07/01/08	第3回理事会	議案 ①善意銀行について ②諸規程の変更について

開催年月日	会議名	審議等事項
R07/03/03	第4回理事会	議案 ①令和6年度第3回補正予算（案）について ②定款の一部変更について ③令和7年度事業計画（案）について ④令和7年度当初収支予算（案）について ⑤諸規程の変更について ⑥令和6年度第3回評議員会の招集について 専決 ①令和6年度第2回予算流用の報告について 報告 ①善意銀行について
R07/03/21	第3回評議員会	議案 ①令和6年度第3回補正予算（案）について ②定款の一部変更について ③令和7年度事業計画（案）について ④令和7年度当初収支予算（案）について 専決 ①令和6年度第2回予算流用の報告について

2. 広報宣伝活動

社協だより：年2回発行

○第1号 7月10日から 3,939世帯に配布

○第2号 2月10日から 3,922世帯に配布

ホームページ：随時更新、お知らせ・フォトレポート等により周知

SNS：公式 facebook による各種お知らせ、公式 LINE による相談対応の実施



3. 社協賛助会員及び賛助会費

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づく社会福祉法人の一つであり、誰もが明るく、住みよい福祉社会を実現することを目的として組織された民間の福祉団体である。

社会福祉協議会においては、地域の福祉課題を整理し、その解決に向けて地域住民や関係者と協議しながら方針を立て、順序立てて計画を策定するとともに、地域住民が地域福祉に参加しやすい環境の整備を進めている。

その事業運営の財源は、会費、赤い羽根共同募金配分金、寄付金、県や町からの補助金および委託金など、大きく分けてこれらに分類される。

住民が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、高齢者・障がい者支援、児童福祉の推進、ボランティア活動支援、そして「さんわ会」を中心とした地域づくり支援など、地域福祉の推進を図っていく。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
依頼件数（世帯）	4,163	4,074	4,028	3,949	3,949
納入件数（世帯）	3,439	3,383	3,299	3,333	3,390
賛助会費（円）	3,414,600	3,377,500	3,382,000	3,315,500	3,288,000
世帯加入率	82.60%	83.04%	81.90%	84.40%	85.84%

4. 善意銀行事業

善意銀行は、地域住民からの「善意」を預かり、それを必要とする人々へ届ける制度で、「銀行」という名称ではあるが、金銭的な利子を伴う金融機関ではなく、福祉のための『善意の預かり所』である。

この制度の目的は、地域における助け合いや支え合いの心を、具体的な形として表すことにあり、預かった寄付金や物品、労力（ボランティア）などは、高齢者、障がい者、子育て世帯、災害被災者など、支援を必要とする人々のために活用させていただいた。

金銭預託実績

年月日	寄附申込者	自治会	預託金額
R06/12/04	スタジオ FUN チャリティフラパティ 土井逸子		10,000
R06/12/23	東みよし町地区対抗ゴルフ		81,276
R07/02/14	東みよし町地区対抗ゴルフ		13,600
R07/03/17	北川美智子	山根西	1,000
合 計			105,876

※敬称略

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
預託金額	1,303,000	605,250	818,557	246,358	105,876

物品預託実績

年月日	寄附申込者	自治会	預託物品
R07/01/23	斎藤あや子	中村東	帽子（ニット帽）
R07/01/28	山田満里子	北村中	電動ベッド

※敬称略

労力預託実績

年月日	寄附申込者	預託労力
R06/09/27	博愛ヴィレッジ	フライングディスク大会会場設営
R06/10/15	博愛ヴィレッジ	グランドゴルフ大会会場設営
R06/12/09	シルバー大学校 0B 会	三加茂老人福祉センター清掃
R07/02/04	博愛ヴィレッジ	社会福祉大会会場設営
R07/02/05	博愛ヴィレッジ	社会福祉大会会場片付け
R07/03/22	シルバー人材センター	三加茂老人福祉センター周辺剪定

※敬称略

5. 災害時対応

令和6年1月1日に石川県能登地方を震源として発生した「令和6年能登半島地震災害」により被害を受けた石川県からの職員派遣要請を受けて、四国ブロック社会福祉協議会の幹事県である徳島県社協からの要請・調整により、社会福祉協議会及び災害ボランティアセンターの運営支援のため、職員派遣を行った。

◇志賀町社会福祉協議会 志賀町災害ボランティアセンター

派遣日程及び派遣人数：

令和6年 4月 1日（月）から 4月 7日（日） 2名・延14人日従事

令和6年 4月25日（木）から 5月 1日（水） 1名・延 7人日従事

主な従事内容：

石川県志賀町災害 VC の運営支援

- ・ 支援ニーズと災害ボランティアのマッチング（オリエン・マッチング班）
- ・ 災害ボランティアに対するオリエンテーション（オリエン・マッチング班）
- ・ 支援ニーズの現地調査と支援の見立て、軽微な作業（現地調査班）

社協業務の支援等

◇輪島市社会福祉協議会 輪島市災害ボランティアセンター

派遣日程及び派遣人数：

令和6年 7月15日（月）から 7月18日（木） 1名・延 4人日従事

主な従事内容：

石川県輪島災害 VC におけるボランティア活動・復旧支援活動

◇珠洲市社会福祉協議会 珠洲市災害ボランティアセンター

派遣日程及び派遣人数：

令和6年 9月27日（金）から10月 3日（木） 1名・延 7人日従事

主な従事内容：

石川県珠洲市災害 VC の運営支援

- ・ 支援ニーズと災害ボランティアのマッチング（オリエン・マッチング班）
- ・ 災害ボランティアに対するオリエンテーション（オリエン・マッチング班）
- ・ 支援ニーズの現地調査と支援の見立て、軽微な作業（現地調査班）

社協業務の支援等

地域福祉課

地域福祉事業

1. さんわ会事業

地域の支え愛の再構築と地域課題の可視化、防災・減災活動として開催をいただいている。本年度はコロナ禍以降開催を控えていた自治会からも徐々に開催依頼が増えた。さらには地域の方々の防災意識の高まりからか、小学校や老人クラブからの依頼もあった。

自治会長会や自主防災組織連絡会などの際に本事業の周知を行い、気軽に開催いただけるよう呼びかけを継続していきたい。

	年月日	回数	主 催	場 所	人数	炊き出し	マップ	防災講話	その他
1	R06/05/12	8	光北自主防災会	光北集会所	50	○	○	○	
2	R06/07/07	3	市自治会	市高田集会所	24	○	○	○	
3	R06/08/24	2	昼間小学校PTA	昼間小学校	62	○			
4	R06/09/29	7	岸下自治会	岸下集会所	20	○	○	○	
5	R06/10/10	4	山根自治会	山根生改センター	35	○	○	○	
6	R06/11/10	4	市自治会	市高田集会所	16	○	○		○
7	R06/11/24	4	体協12区	昼間小学校	100	○			
8	R06/12/01	6	角自治会	三庄公民館	52		○		
9	R06/12/12	2	昼間長生会	老人憩いの家	13	○			
10	R07/03/19	8	東みよしTF	社会福祉協議会	48	○		○	
11	R07/03/23	3	足代長寿会	美濃田の淵	30	○		○	
合 計					450				

2. 地域福祉活動推進事業

自治会や地域団体等が主体となっていく、地域交流、世代交流などの地域福祉活動計画の目標達成のための事業に対して助成を行っている。

地域福祉活動計画では、いきがづくりやあいさつ声かけ等の『つながり』、ご近所での助け合いや自治会活動の充実による『絆』、世代間交流や学校・施設を活用した活動による『地域力』が地域課題として明らかになっており、それらを解決する活動の支援を行った。

	年月日	実施主体	場 所	参加人数	事業内容
1	R06/05/04	西庄良所会	水の丸周辺	112	水の丸高原ウォーク
2	R06/11/23	足代地域の防災を考える会	足代小学校	300	足代地区防災訓練
3	R06/11/24	西庄良所会	西庄公民館	70	西庄フェスタ
4	R07/02/17	西庄良所会	西庄公民館	26	西庄地区お食事会
5	R07/02/23	守る会東山	東山小学校	200	しゃまの節句まつり
6	R07/03/12	社会福祉協議会	大藤公民館	12	大藤奥村お食事会
合 計				720	

3. ふれあい・いきいきサロン支え隊事業【町受託事業】

高齢化やご近所による見守りや支えあいの希薄化が問題視される現状を鑑み、身近な地域で『気軽に』『楽しく』集まれる場所づくりのために、サロン活動の開催を促し支援している。

会員の入院や参加人数の減少により解散したサロンもあるが、新設の相談もきている。また、昨年より開催回数が減少した地域が多いが、記録的猛暑や急な積雪により夏季や冬季の開催を見送るサロンが多かった。

◇サロン設置数及び登録人数

地 区	設置数	登録人数	年間 開催回数	延べ参加人数	新設 数	解散 数
三庄平坦地区	10	129	178	1,889	0	1
三庄山間地区	4	37	63	607	0	0
加茂地区	12	157	363	5,014	1	0
昼間地区	4	83	125	2,321	0	2
足代地区	9	82	237	1,982	1	0
東山地区	1	11	16	176	0	0
合 計	40	499	982	11,989	2	3

4. 地域支援事業（通いの場）【町受託事業】

要支援や要介護状態になるのを予防し、いつまでも元気な老後をめざすため、身近な通いの場（お住まいの地域）で5人以上のグループをつくり、介護予防への取り組みを自主的に行っていただくための支援を行っている。

◇通いの場主な内容

- ①「いきいき百歳体操（徳島版）」等の体操を実施
- ②初回から4回は理学療法士、またはサロンコーディネーターが実技指導を行う
- ③職員が訪問し健康チェックと体力測定を行う
(初回、3ヶ月後、6ヶ月後、1年後、1.5年後、2年後、2.5年後、3年後～)
- ④定期的に理学療法士が実技指導を行う（初回、3ヶ月後、1年後、2年後、3年後～）

地区名	設置数・登録人数			体力測定等実施回数・専門職派遣数	
	設置数	登録人数	新設数	実施回数	理学療法士派遣数
三庄平坦地区	9	97	0	8	3
三庄山間地区	2	16	0	3	2
加茂地区	8	106	1	14	8
昼間地区	3	54	0	4	3
足代地区	8	72	1	12	6
東山地区	2	17	0	2	2
合 計	32	362	2	43	24

5. こどもの居場所づくり推進事業

地域の大人との継続的な交流ができ、子どもたちにとって安全で安心な居場所であり、信頼関係のもとでの様々な活動を行う中で、すべての子どもたちが夢や希望をもって健やかに成長していける居場所づくりを展開する。

○こども★さろんの開催

子どもや子育て世帯の居場所づくりと交流の場所づくりのため、三好地区と三加茂地区で計2回開催した。関係機関にご協力いただき、宿題支援や紙芝居、手話体験、昔遊び体験などの活動や昼食を実施している。三好地区では今年度も児童公園プールが使用できないため、中央公民館の1～4階を活用した催しを実施。三加茂地区では春休みの平日に開催することにより、家庭での昼食準備など保護者への負担軽減も考慮した。

回数	開催日時	会場	内容	参加者
1回目	7月29日（月） 9:30～15:00	中央公民館 1階～4階	宿題支援、紙芝居、カルタ、 コードミッションアドベンチャー	昼間地区 （こども18名） （おとな1名）
2回目	3月31日（月） 9:30～13:30	三加茂公民館 ホール・和室	手話体験 コードミッションアドベンチャー	三庄地区 （こども13名） （おとな2名） 加茂地区 （こども23名） （おとな4名）

〈参加費〉【三好地区】こども100円・おとな300円

【三加茂地区】こども100円・おとな500円

〈関係機関〉【三好地区】

ふれあい・いきいきサロン連絡協議会、民生委員児童委員協議会、
教職経験者、グランマ、花みずき、ボランティアグループ愛
老人クラブ昼間長生会、東みよし町役場福祉課

【三加茂地区】

西庄さんわ推進会、老人クラブ三寿会、老人クラブ加茂大楠会、
老人クラブ加茂福寿会、三加茂福祉委員会、手話サークルみかも、
民生委員児童委員協議会

○こども★さろん農林業体験の開催

米作りの体験から農林業の大切さを学ぶとともに、地域住民（高齢者）とのふれあいを通して地域の良さを知り、生まれ育った地域に愛着と誇りが持てることを目的に開催している。

地域団体『東みよし町地域活動支援隊』が主催で開催しており、本会も運営支援を行う。

回数	開催日時	会場	内容	参加者
1回	令和6年 5月26日（日） 10:00～12:00	井上農機商会前の 水田（昼間）	田植え	13名 （こども8・大人5）
2回	令和6年 9月29日（日） 10:00～12:00	井上農機商会前の 水田（昼間）	稲刈り	10名 （こども6・大人4）
3回	令和6年12月15日（日） 10:00～13:00	ふれあい健康館	餅つき	20名 （こども13・大人7）

〈参加費〉 こども100円・おとな300円

〈主催〉 東みよし町地域活動支援隊

〈協力〉 子ども食堂、地元ボランティア、赤帽、さんカフェ参加者、JA 徳島県
東みよし町社会福祉協議会

○子ども食堂の運営相談・支援

子ども食堂の立ち上げに関する相談業務や助成金案内などの運営支援を行った。

【相談対応件数】

◇立ち上げ相談 1件 ◇助成金対応 2件 ◇保険 10件 合計相談件数13件

6. 生活支援体制整備事業【町受託事業】

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加するなか、医療、介護サービスの提供のみならず、東みよし町が中心となって、生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化および高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的に体制整備を進めている。

○地域支えあい推進協議体会議

◇第1層協議体（町域）支えあい推進員会議の開催

回数	開催日時	内容	出席数
1回	令和6年7月17日（水） 10:00～11:30	役員の一部改選 協議体説明とこれまでの活動報告 今後の活動に向けての情報共有	11名
2回	令和6年12月3日（火） 10:00～11:30	座談会での意見報告・情報共有 今後の取組について その他	12名

◇第2層協議体（小地域）支えあい推進員会議の開催

第2層協議体（小地域）は7か所に分かれているが、地域力の低下などにより、集まることが難しい地域が出てきており、今後は地域を越えた支えあいの推進を図るた

め、三加茂地区と三好地区の2か所に分かれて会議を開催した。三好地区は参加者の都合により欠席者多数のため開催できなかった。

「高齢者の移動支援」、「運転寿命の延伸」という前回の話し合いの振り返りのあとに、第1層協議体での進捗を報告し、今後の地域での実用性などについて意見を出していただいた。

また、地域福祉活動計画の策定をひかえ、現在の地域課題と前回策定した5年後の地域の姿について話をしていただいた。

〈三加茂地区〉

開催日時	内容	出席数
令和6年9月25日（水） 13:30～15:30	・ 高齢者の移動支援と運転寿命の延伸について ・ 現在の地域課題について ・ 地域福祉活動計画について	17名

○フレイルサポーター活動の取り組み

地域住民が主体となり、フレイル予防の啓発や推進に取り組むボランティア団体による活動。

〈サポーター数〉

計18名（1期生11名、2期生7名）

活動名	内 容	回数	延べ参加数
のびのび教室	参加者の体力測定支援	3回	35名
のびのび教室 （フォローアップ）	同上	2回	30名

○つながり通信の作成

地域の見守り活動として、手紙を活用した「つながり通信」を作成している。

【内 容】健康情報、脳トレ、自宅でできる体操、困りごとの相談先などを掲載

【対 象】配食サービス利用者（独居高齢者・高齢者世帯・障がい者など）

地域で見守りが必要な方

【発行数】1回あたり約 240～250 部

【発行日】毎月1回（全12回）

7. 赤十字事業

○日本赤十字社活動支援費募集状況

日本赤十字社活動支援費は、町内各戸1世帯600円を目標に寄付いただいたもので、国際救助活動、医療活動、献血活動や赤十字救急法等の講習など多岐にわたり活用させていただいている。東みよし町内ではさんわ会などの講習会や災害時救護活動、災害時のお見舞い金や救急セットの配布などに活用されている。

また、赤十字特別社員では毎年2,000円以上の活動支援費を10年以上継続して支援いただいている活動支援員となる。

◇令和6年度 日本赤十字社活動支援費

【目標額】2,218,000円

・活動支援費	3,436件	1,974,740円
・特別社員	55件	106,000円（うち新規2名）
計	3,491件	2,102,740円（目標額比較△115,260円）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
活動支援費	2,136,200	2,250,700	2,155,240	2,198,960	2,102,740
件数	3,579	3,780	3,567	3,525	3,491

○小規模災害に対する赤十字見舞金品の交付

日本赤十字社徳島県支部では、災害救助法の適用を受けない小規模の火災・風水害等により被害を受けた方に対し、援護物資や見舞金をお届けしており以下の交付を行った。

全焼・・・1件 見舞金 20,000円
見舞品〔災害発生から2か月後の申請のため無し〕

○令和6年能登半島地震災害義援金

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震災害に対し、令和6年1月5日より能登半島地震への義援金の受付を開始し、東みよし町役場三加茂庁舎、同三好庁舎、社協窓口に義援金箱を設置。

令和6年3月29日までに828,326円の義援金をお預かりし、令和6年能登半島地震災害義援金として日本赤十字社徳島県支部へ送金を行った。

令和6年4月1日～令和7年3月31日の間には、163,123円の義援金をお預かりし、延べ991,449円を令和6年能登半島地震災害義援金として日本赤十字社徳島県支部へ送金を行った。

令和7年1月6日からは、社協窓口のみに義援金箱を設置。

8. 共同募金事業 ～東みよし町共同募金委員会～

○東みよし町共同募金委員会

実施状況：運営委員会 ①令和6年 5月31日 ②令和6年 9月17日 ③令和7年 3月21日

○令和6年度 共同募金結果

10月1日～12月31日を期間とし、住民の皆様方の深いご理解のもと本年度目標額【赤い羽根共同募金：2,003,200円 歳末たすけあい募金：300,000円】を上回る多くの募金をいただいた。

【赤い羽根共同募金	2,087,595円】	(目標額比較 +84,395円)
(内訳) 自治会	1,774,900円	
職域募金	241,171円	
街頭募金	38,043円	10/1、10/26街頭募金
法人募金	8,000円	(有)三木産業、(有)西村自動車
その他募金	25,481円	個人募金、イベント募金
【歳末たすけあい募金	301,107円】	(目標額比較 +1,107円)
(内訳) 自治会	211,600円	
街頭募金	61,001円	12/3街頭募金
その他募金	28,506円	イベント募金

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
赤い羽根共同募金	2,173,386	2,114,293	2,115,902	2,220,516	2,087,595
歳末助け合い募金	250,000	276,277	250,407	250,648	301,107

○「東みよし町を良くするしくみづくり」助成事業の募集及び助成

住民の皆様にご協力頂いた共同募金を原資とし、東みよし町で活動するボランティア団体や福祉団体等に対して助成することにより、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる町づくりを推進することを目的に助成事業を行った。

◇本年度の助成内訳

(1) 社会福祉協議会が行う地域福祉活動費

11事業 1,180,000円 [前年度比 1事業減 20,000円増]

(2) 自治会等の地域団体が行う小地域での福祉推進のための活動費

3事業 110,000円 [前年度比 20,000円増]

(3) 地域福祉を目的とした福祉団体やボランティア団体などの活動費

9事業 330,000円 [前年度比 2事業減 30,000円減]

計 23事業 1,620,000円 [前年度比 3事業減 10,000円増]

9. ボランティアセンター事業

ボランティアセンターでは相談事業や、防災・災害ボランティアセンターの推進、福祉の保険加入事業等を実施している。

○ボランティアセンター

【相談事業】

- ・相談件数 13件
- ・相談内容

☆助成金の申請について

☆ボランティア保険について

☆会員の確保や活動について

☆調理ボランティアの募集について

【福祉の保険加入状況】

- ◇ボランティア活動保険 298名加入
- ◇ふれあいサロン・社協行事保険 19,210名加入

○夏休みボランティアスクール

中学生や高校生を対象に、夏休みを利用してボランティア活動を体験することにより、活動への意識付けやきっかけづくりになることを目的としている。

開催日 令和6年7月26日（金）14:30～18:30

会場 東みよし町社会福祉協議会

内容 ボランティア講座、イベントの運営全般

参加人数 4名

10. 防災啓発事業

防災啓発に関する事業及び、組織内における災害対応力の向上のための事業を実施した。

○夜間の防災体験

昨年度同様、屋外にて防災ウォーキングイベントとして『ナイトウォーキング・プラス』を開催。昨年度と同様、本年度も社協駐車場を主会場として開催。本年度も危機管理課、東みよし町防災士会、三好警察署にもご協力いただいた。危機管理課は「水消火器体験」「水災害時の避難等の情報掲示」を実施。東みよし町防災士会は毎年好評の「ロープワーク体験」を実施。三好警察署は「反射と俊敏性のチェック体験」を実施。その他にも「無線機の使用体験」や「防災体力向上ウォーキング」を実施し、防災クイズにも挑戦いただき防災体力の向上をテーマに防災啓発事業を実施した。

目的：防災に興味を持つきっかけづくりと、いざという時の「体力」「観察力」「発想力」を養っていただく。

開催日：令和6年7月26日（金）18:00～19:30

会場：東みよし町社会福祉協議会・ぶぶるパークみかも

参加人数：128名（来場者：108名 関係者：20名）

○東みよし防災フェスティバル2025

目 的：東日本大震災を機に、住民の中に防災・減災に対する意識の向上と、地域での自助・互助・共助での支え愛による大規模災害に対する備えがすすめられる中、地域での絆やつながりをさらに深め、日頃からの助け合いの強化のために開催した。また、災害ボランティアセンターや自主防災組織、関係機関等の平常時からの防災の取組みを知ることにより、他機関連携をますます深めるために開催した。

開 催 日：令和7年3月9日（日）10:00～13:00

会 場：東みよし町社会福祉協議会

参加人数：532名（来場者：365名 関係者：167名）

II. シルバー人材センター

シルバー人材センターでは60歳以上の健康で働く意欲のある方を会員として登録いただき、屋外での除草作業や剪定作業、公園の清掃等のほか、各種屋内作業や表装作業など、高齢者の知識と経験を活かした就労を通じた『いきがいつくり』や『仲間づくり』に寄与している。

(I) 月別事業実績

	会員数			受注件数			契約金額			延人員	実人員	就業率
	男	女	計	公共	民間	合計	公共	民間	合計			
4月	43	36	79	18	48	66	629,524	611,179	1,240,703	363	49	62.0%
5月	43	36	79	22	72	94	1,035,437	843,841	1,879,278	480	49	62.0%
6月	44	36	80	22	50	72	714,691	604,512	1,319,203	340	43	53.8%
7月	46	37	83	19	60	79	760,615	642,283	1,402,958	443	46	55.4%
8月	46	37	83	17	57	74	543,247	619,025	1,162,272	347	44	53.0%
9月	47	38	85	22	75	97	706,334	977,202	1,683,536	459	43	50.6%
上半期計				120	362	482	4,389,908	4,298,042	8,687,950	2,430	61	71.8%
10月	45	38	83	31	61	92	922,333	785,078	1,707,411	439	47	56.6%
11月	45	38	83	17	51	68	520,202	846,239	1,366,441	318	42	50.6%
12月	45	39	84	15	51	66	595,978	926,860	1,522,838	226	47	56.0%
1月	46	39	85	15	11	26	670,824	273,579	944,403	203	37	43.5%
2月	46	39	85	17	9	26	384,856	99,508	484,364	160	35	41.2%
3月	46	39	85	18	26	44	451,064	403,732	854,796	178	40	47.1%
下半期計				113	209	322	3,545,257	3,334,996	6,880,253	1,524	54	63.5%
前年比				-23	-76	-99	163,989	-533,701	-369,712	-511	-	-
合計				234	571	805	7,946,499	7,633,038	15,579,537	3,956	65	76.5%

(2)職群別就業状況

職群	職種	受注件数	実人員	延人員	契約金額	比率	備 考
専門的・技	開発技術者	1	1	1	3,000	0.0%	専門的業務
事務的業務	外勤事務	10	16	90	87,328	0.8%	事務
農林漁業	農業及び林業の就業	113	26	272	1,240,980	11.0%	農作業、庭木の剪定
生産	製品製造、加工	14	2	23	166,024	1.5%	表装作業
輸送・機械	自動車運転の職業	1	3	5	3,500	0.0%	運送、機械作業
建設・採掘	土木の職業	2	1	2	16,466	0.1%	芝生砂入れ等
運搬・清掃	清掃、除草	664	64	3563	9,771,654	86.6%	清掃、除草作業等
合 計		805	65	3,956	11,288,952	100.0%	

(3)シルバー派遣事業実績

職群	契約件数	実人員	延人員	契約金額	備 考
輸送・機械運転の職業	1	1	123	788,186	ゴミ収集補助業務
運搬・清掃・包装等の職業	1	2	215	278,868	施設内清掃等
合計	2	3	338	1,067,054	

(4)短時間日常生活支援事業

職 種	契約件数	実人員	延人員	契約金額
ゴミ出し	11	1	43	4,700
合 計	11	1	43	4,700

12. シルバー大学校・大学院【県受託事業】

高齢者自身が生きがいをもって豊かな高齢期を創造できるよう、能力の再開発を援助し、将来は地域福祉を推進するリーダーの養成を目的に実施。また、シルバー大学院では専門性の高いレベルでの学習の機会を提供している。

シルバー大学校では授業内容も多岐にわたる分野で大変充実しており、卒業生からは「楽しかった」、「もう一度入学したい」等のご意見を頂いた。

大学院は、受講者の学びによる生きがいの促進とともに相互のつながりの構築による、より一層地域福祉の推進に貢献できる人材育成が期待される。

	シルバー大学校	
	健康コース	ICT コース
入学者数	21	14
辞退者数	2	0

シルバー大学校 大学院 ICT
6
0

13. 各種福祉団体の状況

① 東みよし町老人クラブ連合会 9クラブ会員数485名

6月の総会を皮切りに、「交通安全教室」「中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会」「県老連グラウンドゴルフ大会」「敬老県民のつどい」「体育大会」「ウォーキング大会」などに大勢の会員に参加いただいた。また、8月には県老連よりe-スポーツの機器を貸与し「e-スポーツ体験会」を開催し、3月には身体障害者会と合同での「ニュースポーツ交流大会」を企画し、若手部会主催によるニュースポーツなどの普及啓発と健康増進、そして会員相互の交流を深めた。

② 東みよし町遺族連合会 加茂・三庄・三好町の3つの遺族会により構成

役員総会を開催し、意見交換、親睦を図るとともに、各地区遺族会ごとに上部団体主催の会議等に参加した。町追悼慰霊祭を6月19日に東みよし町農業者トレーニングセンターで開催した。また、県戦没者遺族大会が9月14日に開催され参加した。

③ 東みよし町身体障害者会 会員数108名

総会を開催（13名参加）、また役員会を4月26日（8名参加）、9月26日（6名参加）に開催し意見交換を図る。6月2日には三好市合同障害者スポーツ大会が開催され参加者85名、来賓10名、運営役員8名、各施設職員28名の計131名が参加した。社会参加促進事業として、三好市と合同で6月27日にボッチャ大会、9月17日にフライングディスク大会を開催し、グラウンドゴルフ大会を10月15日に開催。11月28日に研修旅行を開催し13名が参加した。

④ 東みよし町手をつなぐ育成会 会員数8世帯15名

総会を開催し意見交換、親睦を図った。6月2日の三好市合同障害者スポーツ大会には3名、8月18日のコミュニケーション教室に3名の会員の方が参加され、三好市手をつなぐ育成会会員や博愛ビレッジや箸蔵山荘の利用者との交流を通じて親睦を深めた。また、9月8日の四国三郎の郷でのふれあいキャンプには5名の会員が参加し、デイキャンプやレクレーション活動を通じた社会参加や交流の場となった。3月30日には日帰り研修を行い、4名が参加され、鳴門渦の道での散策などを通じて会員同士で交流を深めることができた。

⑤ 東みよし町ゲートボール協会 6チーム会員数28名

高齢者の健康づくり、生きがいづくりとして活動。上半期は町GB協会主催による春季大会を実施。三好・三加茂各地区でも定期的に練習を行い、11月には秋季大会も開催。会員数は減少しているが、各クラブの熱意により新規入会者もでてきている。また、大会では合同チームを編成するなどの工夫を凝らし大会を盛り上げている。会員相互の交流とスポーツを通じた体力の向上、いきがいづくりの向上に寄与。

⑥ 三加茂福祉委員会 会員数134名

三加茂地区を活動拠点とし、見守りサービス事業での定期訪問や見守り配食サービスにおける調理、配送などの活動を行っている。8月には見守りサービスの利用者宅

を訪問し、熱中症予防の声掛けとともに季節食を、12月には年末年始を安心して過ごせるよう声掛けを行いお餅と手作りのお味噌をお届けした。また、三加茂地区の敬老会では米寿を迎えられる方にメガネスタンドを作成し贈呈した。東みよし町文化まつりでは掘り出し物市、コーヒーバザーを出展、また3月9日防災フェスティバル2025においては炊き出しコーナーに参加。これまでのメニューを見直し、新メニュー（ラーメン）の調理・配膳を行い、参加いただいた地域住民をはじめ関係機関へ食事を提供した。

⑦ ボランティアグループ愛 会員数40名

三好地区を活動拠点とし、見守りサービス事業での定期訪問や見守り配食サービスにおける配送などの活動を行っている。4月よりコロナ禍で中断していた調理を再開し、季節食をお届けしている。また、7月29日開催のこども★さろんでは、手作りのカレーライスを調理し、参加した子どもたちと交流を行っている。3月9日防災フェスティバル2025では炊き出しコーナーにて三加茂福祉委員会と共同で新メニューの調理・配膳を行い、参加いただいた地域住民をはじめ関係機関へラーメンを提供した。

⑧ 東みよし町ボランティア連絡協議会 11団体262名、個人8名

町内のボランティアグループの連携・調整を図り、研修会などを開催している。本年度は、7月8日に総会を開催し、55名の会員に出席いただいた。総会後には講師をお招きし、地域の方との繋がり方について講演を行っている。また、11月5日には岡山方面への日帰り研修を開催し、33名の会員に参加いただいた。

⑨ 東みよし町ふれあい・いきいきサロン連絡協議会 サロン40か所、会員499名

町内のふれあい・いきいきサロンが相互の連携・協働により、サロンの継続支援のための活動を展開することを目的としている。今年度の総会では「ジャグリングサークル シアオ」による記念講演があり、パフォーマンスやジャグリング体験を経て会員同士の交流を図った。また、7月18日には徳島県理学療法士会協力のもと「理学療法士による出張講座」を開催し、52名の会員に参加いただいて「いきいき百歳体操」の必要性を改めて確認した。3月11日には2年ぶりに「サロン顔合わせ会」を開催し、50名の会員がレクリエーションゲームを通じて交流し、連絡協議会の本質であるサロン同士の横のつながりも深めることができた。

生活支援事業

1. 生活困窮者自立支援事業【県社協受託事業】

本事業では、経済的な問題のみならず、精神的、家庭的、健康的な問題等複合的な問題を抱えながら地域生活を送られている方を対象に、自立と尊厳の確保を目指し、包括的・個別的・早期的・継続的な支援の実践を行なった。

相談支援員（兼）就労相談支援員 1名（とくしま・くらしサポートセンター 東みよし担当）
担当職員 1名

◇延べ相談件数

相談経路	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	80	71	72	36	41	36	27	74	63	26	34	29	589
来所	16	22	26	22	21	22	20	21	30	31	11	21	263
アウトリーチ	14	27	28	38	60	39	53	112	61	101	62	50	645
合 計	110	120	126	96	122	97	100	207	154	158	107	100	1497

◇月次実績明細

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談受付件数（総数）	0	1	1	2	2	3	0	0	3	1	0	2	15
プラン作成件数（総数）	3	4	2	2	0	5	3	4	2	1	0	4	30
就労支援対象者数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
法に 基づく 事業等 利用 件数	住居確保給付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時生活支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家計相談支援事業	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	4
	就労準備支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	就労訓練事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	生活福祉資金等による貸付	1	4	1	1	0	3	0	4	1	0	0	18
	生活保護受給者等就労自立促進事業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

◇年度別相談件数の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ相談件数	1175	828	1003	1497

○自立相談支援機関における、休日等の相談体制の整備について

休日・夜間等においても相談対応できるような体制を整えており、本会へかかってきた電話を転送設定し、当番制により相談対応している。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ相談件数	241	219	312	396

○フードバンク・フードドライブ事業

主に企業や関係団体などから提供いただいた、食品や生活用品などを必要な方へお届けするフードバンクと、主に個人の方より提供いただき活用するフードドライブを実施している。

今年度は子育て世帯に年2回のフードパントリーを実施した。越年支援も利用者が年々増えている状況である。

また、小中学校を通じてフードバンク・モノバンク事業の周知を行ったため、制服や体操服など、子どもの支援に活用できるものを多く寄付していただいた。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
寄付	83	119	93	97	63
個人	59	99	70	67	47
団体	24	20	23	30	16
配布	248	237	229	315	262
個人	228	212	219	300	252
団体	20	25	10	15	10

2. 生活福祉資金貸付事業【県社協受託事業】

低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯等に対し、資金貸付と相談・支援を行うことにより世帯の経済的自立や在宅福祉・社会参加の促進を図ることを目的とした制度となる。

○フォローアップ事業

緊急小口資金等の特例貸付におけるフォローアップ事業として、償還免除を受けている26名、償還などの案内に未応答な4名、免除申請調整中の2名、その他要支援者15名の計47名に電話連絡や訪問面談で生活状況を聞取り、今後の生活安定や償還に向けた支援を行った。支援を経て支援対象者の内3名が償還免除の承認を受ける事となった。

◇貸付状況（令和7年3月31日現在）

資金種類	貸付件数	貸付金額	償還金残高	滞納件数	滞納金額
総合支援資金	2	1,200,000	549,000	1	64,000
更生資金	1	1,344,000	3,308,975	1	668,000
福祉資金	6	6,972,764	4,616,947	4	733,942
教育支援資金・修学資金	25	24,228,000	10,185,500	10	2,105,740
緊急小口資金	3	301,125	367,759	3	164,135
コロナ特例	43	11,600,000	9,734,626	33	3,327,530
総合支援資金	19	7,200,000	6,552,110	13	732,110
緊急小口資金	24	4,400,000	3,182,516	20	2,595,420
合 計	80	45,645,889	28,762,807	52	7,063,347

◇本年度申請・貸付状況

相談はあったものの、資金の申請には至らなかった。

◇償還完了状況

資金種類	完了件数	償還金額合計	説明
緊急小口資金（コロナ特例）	14	2,400,002	
合 計	14	2,400,002	

◇償還免除・時効援用等

資金種類	完了件数	償還免除金額合計	説明
福祉資金（福祉費）	1	1,867,002	償還免除
総合支援資金（コロナ特例）	3	1,050,000	償還免除2件 職権免除1件
緊急小口資金（コロナ特例）	2	291,710	償還免除
緊急小口資金（コロナ特例）	1	100,040	一部免除
合 計	7	3,308,752	

3. 福祉つなぎ資金貸付事業

一時的に生活に困窮している低所得世帯（町内に在住する低所得世帯で臨時の出費又は、収入の欠如等により生活を維持するのが困難な世帯で、生活福祉資金貸付制度で貸付決定された者及び会長が特に必要と認めた者）に対し、生活の安定を図るために資金を貸し付けている。

◇本年度貸付状況

資金種類	申請件数	貸付件数	貸付金額	償還金残高	滞納件数	滞納金額
福祉つなぎ資金	5	5	134,000	56,000	3	17,000

4. 権利擁護事業

I. 日常生活自立支援事業【県社協受託事業】

福祉サービスの利用援助を行うと共に日常的な金銭管理を行い、地域での生活の為の支援を行っている。

◇相談援助件数（問い合わせ・相談援助件数）

内 容		本事業の利用に関するもの				その他	合計
事項	対象者	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他		
a. 問い合わせ件数 （制度・事業について）		0	10	13	1	0	24
b. 初回相談件数 （初回相談受付）		0	0	1	1	0	2
c. 相談援助件数 （ab 以外）		63	445	485	51	0	1,044
合 計		63	455	499	53	0	1,070

◇契約締結件数（令和6年度末の契約締結件数）

対象者		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	生活保護 （再掲）	合計
事項							
契 約 者 数		0	4	0	0	0	4
契約時 自宅外 （再掲）	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0
	0	1	0	0	0	1	1

◇終了件数（令和6年度末まで）

Ⅲ. 法人後見準備事業

令和7年4月からの法人後見事業開始に向け、とくしま絆ネットとのアドバイザー契約により法人後見事業準備会を実施。

法人後見事業準備会

第1回：令和6年 10月 28日（月）

第2回： 12月 23日（月）

第3回：令和7年 2月 17日（月）

5. 居住支援事業【国庫補助事業】

低所得者、高齢者、障がい者、子育て世帯などで住宅を確保することが困難な方（住宅確保要配慮者）が民間賃貸住宅等へ円滑に入居できるよう推進するとともに、入居後に必要な福祉サービスを始めとした各種サービスが利用できるよう支援を行った。

また、今年度より更生保護団体（保護司会、更生保護女性会）にも協議会に参画していただき、刑余者の住居確保のために連携を強化した。

住み替えだけを前提とせず、様々なサービスや制度につなげることで住み替えることなく安心して生活できるよう支援を行った。

○東みよし町居住支援協議会の設置

不動産、福祉・医療、法律、行政、研究者などの専門家で構成する協議会を設置し、住宅確保要配慮者への相談、入居支援及び入居後サポートを実施。

◇会議の開催状況

第1回居住支援協議会 令和6年11月28日（木）13:30～15:00

第2回居住支援協議会 令和7年 1月31日（金）10:00～12:00

◇相談受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談受付件数（総数）	18	1	2	1	4	2	0	1	2	0	0	2	33
終了	4	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	2	9
継続	14	1	2	0	3	2	0	1	1	0	0	0	24
経過													
空き家登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
引越	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
不動産会社等への取次ぎ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援	15	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	19
入院・入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	1	0	3	2	0	1	1	0	0	2	12
制度の利用等													
生活保護受給申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活困窮者自立支援事業	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
生活福祉資金貸付事業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
日常生活自立支援事業	3	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	7
成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
配食サービス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
福祉電話設置事業	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
障がい福祉サービス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	23	0	0	0	1	2	0	1	1	0	0	0	28

◇年度別相談受付状況の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談受付件数	21	23	24	33	33
終了	14	11	4	14	9
継続	7	12	20	19	24

6. 包括的支援体制強化事業【県社協受託】

○社会福祉法人連携

令和5年度より町内の社会福祉法人との連携を「東みよし町くらしサポートネットワーク」として新たに取り組んでいる。高齢、障がい、児童など様々な分野で把握した課題とニーズを共有し、改善策の構築を図っていく。解決ができないことで相談支援が途切れることのないよう、新たな取組みの検討を行う会議を年3回開催した。

・定例検討会 ①令和6年6月24日 ②令和6年10月21日 ③令和7年2月25日

7. 総合相談事業【町受託事業】

三加茂地区は毎月第1・3金曜日午後、三好地区は毎月第2・4木曜日午前に悩みごと・困りごと等、秘密厳守・無料で相談窓口を開設した。心配ごと相談・人権相談・行政相談・身体障害者相談の窓口を設け、親身に相談に乗ると共に、適正な関係機関への連絡・調整等も行い、悩みごとの改善に努めている。近年はご近所とのトラブルに関する相談や相続に関する相談が多く、専門機関との連携により対応を行っている。

【開設状況】	三加茂	三好	合計
開設回数	22	24	46

【相談状況】		来所	自宅等	来所	自宅等	来所	自宅等
相談 件数	心配ごと相談	3	8	1	5	4	13
	行政相談	1	3	1	0	2	3
	人権相談	0	1	3	0	3	1
	身体障害者相談	0	0	0	0	0	0
	居住支援相談	0	0	0	0	0	0
	合計件数	4	12	5	5	9	17

◇大藤・奥村地区出張相談を令和6年10月9日(水)に大藤公民館にて実施。

相談員、行政担当課の情報交換などにより地域の実情を知る機会となっている。

8. 見守りサービス事業

○つながり通信による定期訪問

毎月1回配食サービス実施日に合わせて、配食を希望しない高齢者等のご家庭に、つながり通信をボランティアが持参して声かけを実施。本年度も三好警察署-生活安全課から提供の特殊詐欺防止のリーフレットを用いて呼びかけを実施した。

○見守り配食サービス

75歳以上の独居世帯、80歳以上の高齢者世帯や障害者世帯などの要配慮者の見守り活動の一環として、お弁当を1食300円でお届けする。調理ボランティアによる手作り弁当や町内料理店などに調理いただいた弁当を、ボランティアの皆さんに配送いただき毎月2回ずつお届けしている。

◇配食数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配食総数	318	312	315	310	330	302	296	290	313	268	199	286	3539
三加茂地区	199	199	198	193	209	195	190	185	193	169	89	174	2193
三好地区	119	113	117	117	121	107	106	105	120	99	110	112	1346

※三加茂地区は毎月第1・第3木曜日に、三好地区は毎月第2・第4金曜日に配食サービスを実施。

8月第1週（いなり寿司・煮しめ）、12月第1週（もち・みそ）は見守り活動の一環としてつながり通信の配布による声かけを実施しているご家庭にも軽食をお届けした。

三加茂地区においては月1回、ボランティアさんの手作りによるお弁当を配布しており、9月の敬老月間には敬老祝膳（赤飯・煮魚等）を、12月にはおせち料理のお弁当を調理しお届けした。

三好地区においては、令和6年4月より全支部が調理を再開し、ボランティアさんの手作りによるお弁当をお届けすることができた。

◇利用登録者数（R7年3月末時点）

		配食登録者	見守りサービス
三加茂	151	110	41
三好	78	60	18
合計	229	170	59

◇ボランティア（調理・配送）登録者数

	三加茂	三好	合計
ボランティア登録者数	130	45	175

9. 高齢者移送サービス事業【町受託事業】

山間地域にお住まいで交通手段がない方や不便な世帯の65歳以上の高齢者や障害者の方が、在宅で自立した生活を送るために、乗合バスにより、片道200円で町内の「医療機関」及び「公共機関」へ毎週1回送迎を行っている。

運行にあたっては町内タクシー業者に運転業務を委託し、安全に配慮した運行を心掛けている。

◇運行状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
運行日数（日）	316	279	248	264	248
利用者数（人）	1,305	1,141	866	889	768
登録者数（人）	150	153	135	126	101

◇登録者数(長期不在者除く)

登録者数(長期滞在者除く)

班		運行日	該 当 地 区	登録者数(人)
三加茂地区	1班	水曜日	大藤・奥村	19(-8)
	2班	火曜日	引地・白内・桑内・加茂山上・加茂山下	12(-3)
	3班	木曜日	泉野・五名上・五名下・平・新発地・森清	22(-5)
	4班	金曜日	毛田・毛田西山・木藤・黒長谷	7(-2)
	計			60(-18)
三好地区	1班	月曜日	石木・棟木・増川・柳沢	6(-2)
	2班	火曜日	葛籠・男山	12(-2)
	3班	水曜日	滝久保・岸上・岸下・内野	17(-2)
	4班	金曜日	足代中屋・笠母・聖神・ハタ・法市	6(-1)
	計			41(-7)
合 計				101(-25)

※登録者数のカッコ内は前年度比

10. 福祉用具貸与事業

短期貸出では、障害者や高齢者などが旅行等で一時的・短期的に車椅子、歩行器が必要となった際に無償で貸出しを行っている。長期貸出では、介護保険で非該当または要介護1以下の障害者や高齢者が、福祉用具を提供することにより、在宅で自立した生活が送れるように支援を行う。なお、消毒代金の一部を利用者さんにご負担いただき運用している。

【短期貸出】		【長期貸出】	
	貸出件数	令和6度	年度末累計
車いす	24件	0件	8件
歩行器	4件	0件	3件
		1件	16件

11. 福祉電話設置事業【町補助事業】

要援護者世帯等で通信手段がない世帯に対して、緊急連絡を可能とする為の電話の設置を行い、互助力・共助力の向上をはかり、地域からの孤立や孤独の防止に努めている。固定電話設置にかかる工事費、毎月の基本料金を本事業により負担し、毎月の通話料金は個人負担としてご利用いただいている。

◇電話回線契約状況 新規契約0件 休止回線5件 令和7年3月末現在契約件数6件

12. まごチャンネル設置事業【町受託事業】

障害者世帯や高齢者世帯に対し、画像伝送システムとAIによる環境センサーを備えた『まごチャンネル withSECOM』を設置することにより、家族とのつながりや熱中症対策などの生活安全支援体制の提供を行う。なお、本事業は徳島県 Society5.0推進事業補助金を受けて東みよし町より委託された事業となり、令和5年度までの実証実験として利用に伴う通信費等自己負担は発生することなく運用いただいた。

実証実験終了後の令和6年度からは、月額利用料金（1,848円）が自己負担になるが2世帯の方が設置の継続を希望され、遠隔地域からの見守りに役立つ機器の必要性を感じた。東みよし町ホームページからダウンロード方式でご利用いただいている動画コンテンツも、利用者様はもとより地域の方にも好評いただいている。

- ・まごチャンネル withSECOM 設置台数 2台
- ・見守り世帯状況 家族 県外 ⇒ 利用者 町内 2件
- ・安否確認要請 令和7年3月31日現在 ⇒ 0件
- ・今年度作成したコンテンツ 趣味 ・ 風景 ⇒ 6本 脳トレクイズ ⇒ 6本

13. 地域生活支援事業【市町・広域連合等受託事業】

障害のある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう各種事業を実施している。

○生活訓練等事業(知的コミュニケーション)

- ・事業内容 他の参加者との交流や社会体験を通じ、生活範囲の拡大と生活の質の向上を図り、社会参加の促進を図ることを目的に映画鑑賞会を開催する。
- ・実施状況 令和6年8月18日開催に開催。43名の方にご参加いただき、イオンモール綾川にて買い物、映画鑑賞を行った。

○手話通訳者派遣事業

- ・事業内容 聴覚障害者を対象とし、日常生活や各種催しなどの際に、必要に応じて手話通訳者を派遣する。
- ・実施主体 徳島県聴覚障害者福祉協会
- ・実施状況 利用回数34回

○要約筆記者派遣事業

- ・事業内容 日常生活や講演等各種催しにおいて、聴覚障害者のために要約筆記者を派遣する。
- ・実施主体 JCI Teleworkers' Network
- ・実施状況 利用回数0回

○声の広報発行事業

- ・事業内容 毎月1回朗読ボランティアの協力により、町発行の広報誌をCDに録音し声の広報として視覚障害者に配布している。なお、社協広報誌についても同様に発行している。
- ・実施主体 朗読ボランティア：パラピリプルペレポロ8名
- ・実施状況 回数：12回（町広報誌） 4回（議会だより） 2回（社協広報誌）
配布世帯数：5世帯

○スポーツ・レクリエーション教室開催等事業

- ・事業内容 スポーツ・レクリエーション活動を通じて、障害者等の体力増進、交流、余暇等に資するため、及び障害者スポーツを普及するため、各種スポーツ・レクリエーション教室や障害者スポーツ大会を開催している。（三好市と交代で実施）

・実施状況

〔ボッチャ大会〕

開催日：令和6年6月27日（木）

開催場所：三好市 池田総合体育館

参加人数：45名

〔フライングディスク大会〕

開催日：令和6年9月17日（火）

開催場所：三好市 三野体育館

参加人数：37名

〔グラウンドゴルフ大会〕

開催日：令和6年10月15日（火）

開催場所：ぶぶるパークみかも

参加人数：37名

○手話奉仕員養成講座事業【基礎編】

- ・事業内容 手話通訳者の養成を目的とした講習会を開催する。
- ・実施状況 6月4日（火）～11月26日（火） 全25回
毎週火曜日 19:30～21:00
- ・受講人数 16名（うち6名修了）

14. 児童福祉事業

学生が福祉に関心を持ってもらうことを目的として、小・中学校へ訪問し福祉授業などを実施している。

○小・中学校での出前授業

回数	開催日時・場所	訪問先	対象	内容
1回	令和6年6月4日（火） 12:50～14:50 農業トレーニングセンター	三加茂中学校	1年生	・講義「福祉を知ろう」 ・講義「認知症対応の仕方」 ・障がい者体験（車いす、点字図書・UD食器、視覚・聴覚障がい） ・全体まとめ
2回	令和6年7月9日（火） 13:45～15:40 体育館	加茂小学校	4年生	・講義「障がいについて」 ・障がい者体験（車いす、点字図書・UD食器、視覚障がい、ひざ関節制限で老人車） ・みんなにやさしい町について
3回	令和6年9月11日（水） 13:45～15:25 5年生教室	加茂小学校	5年生	・講義「自分の命を守るために」 ・防災クロスロードゲーム （様々なシチュエーションで自分と他人の判断を考えるゲーム）
4回	令和6年11月1日（金） 13:50～15:30 家庭科室、玄関	三庄小学校	6年生	・講義「災害時にみんなに できること」 ・ハイゼックスで蒸しパンづくり
5回	令和6年11月6日（水） 10:35～12:15 5年生教室、体育館	三庄小学校	5年生	・講義「自分の命を守るために」 ・段ボールベッド製作体験 （危機管理課：備蓄倉庫見学、避難所備品の展示、設営体験）
6回	令和6年11月9日（火） 10:35～12:15 5年生教室	昼間小学校	5年生	・講義「ハイゼックス炊飯 について」 ・自分たちで収穫したお米で ハイゼックス体験 （ジュースで炊飯するなど、様々な種類を試食体験）
7回	令和6年11月26日（火） 9:30～12:00 やまももハウス	三庄小学校	4年生	・講義「通学路にある 災害時に危険な場所」 ・自分たちで撮った通学路での危険個所の写真を使い「通学路ハザードマップづくり」

在宅福祉課

介護保険事業

○通所介護

介護保険対象者の方や、総合事業の通所型サービス（現行相当・サービスA）、事業対象者の方や65歳以上の方で介護認定を受けていない介護予防対象者の方に利用いただいている。令和6年8月1日よりおおぐす荘利用者定員を26名に、さざんか荘利用者定員を33名に変更した。

◇デイサービスセンターおおぐす荘

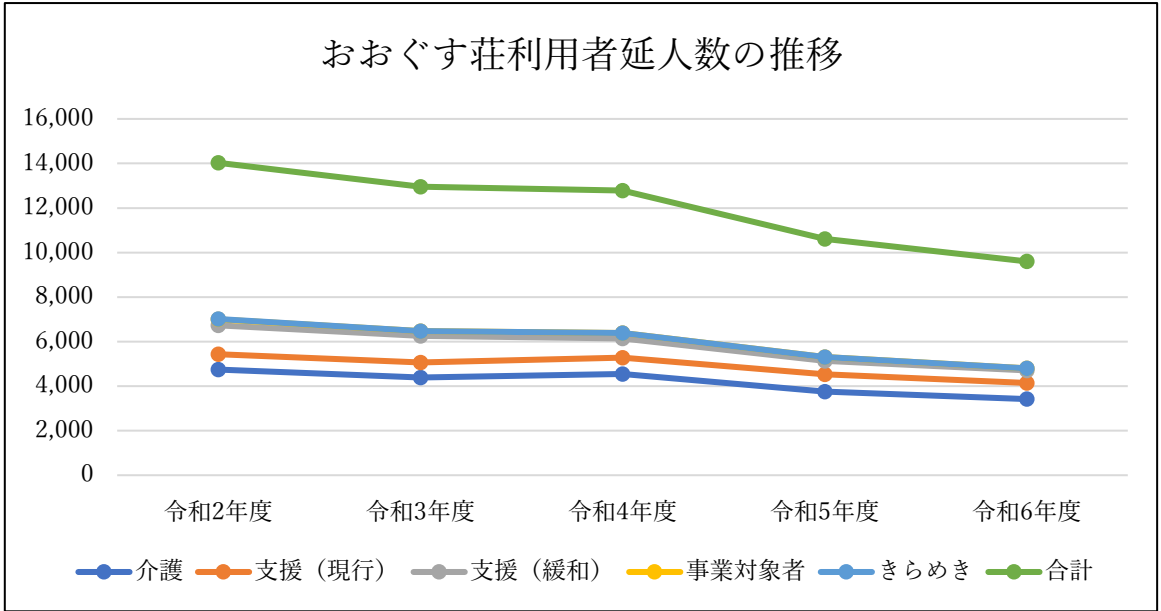
（令和6年度年間開所日合計243日、1日平均利用者数20人）

定員 一体型（介護・現行・緩和・生活介護・きらめき） 26名（年間平均利用76%）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
介護	実人数	74	62	47	41	42
	延人数	4,744	4,388	4,546	3,756	3,420
支援（現行）	実人数	13	9	9	10	13
	延人数	689	672	739	775	723
支援（緩和）	実人数	31	29	17	13	11
	延人数	1,298	1,196	864	604	564
事業対象者	実人数	7	8	5	3	1
	延人数	267	223	243	174	94
きらめき元気アップ	実人数	1	0	0	0	0
	延人数	16	0	0	0	0
合 計	実人数	126	108	78	67	67
	延人数	7,014	6,479	6,392	5,309	4,801

令和6年度年代別利用者実人数

60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100歳-	実人数計
0名	2名	1名	7名	6名	26名	18名	7名	0名	67名



◇デイサービスセンターさざんか荘

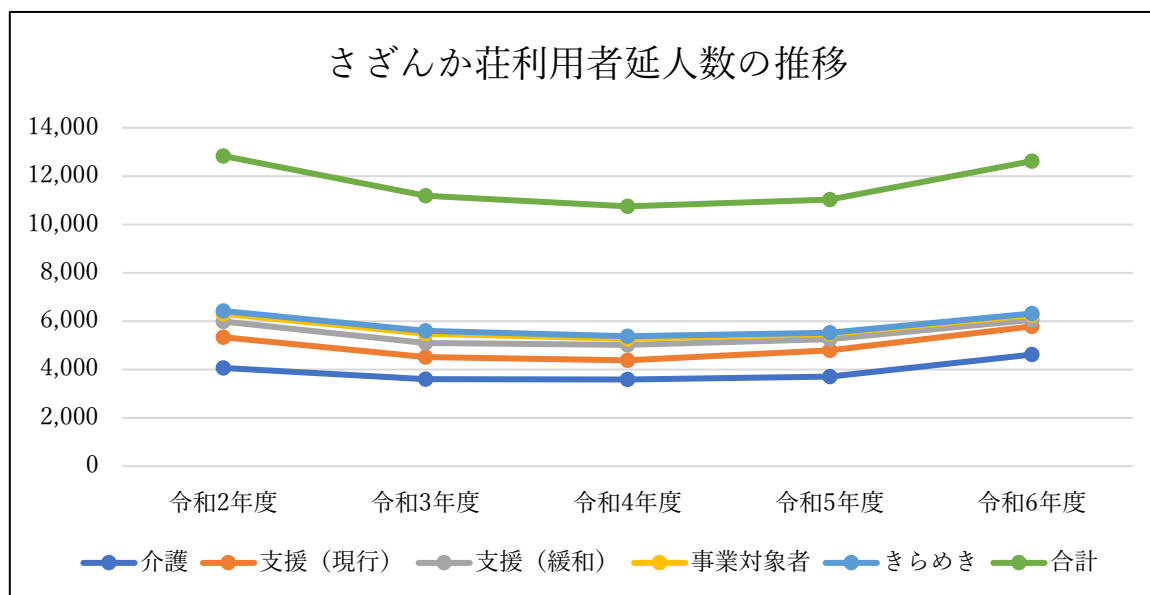
(令和6年度年間開所日合計 243 日、1 日平均利用者数 26 人)

定員 一体型（介護・現行・緩和・生活介護・きらめき） 33 名（年間平均利用 79%）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
介護	実人数	59	55	38	51	58
	延人数	4,062	3,605	3,584	3,701	4,614
支援（現行）	実人数	22	18	12	25	20
	延人数	1,271	907	795	1,087	1,168
支援（緩和）	実人数	11	13	10	11	6
	延人数	649	584	637	461	269
事業対象者	実人数	7	6	3	3	3
	延人数	325	382	254	215	194
きらめき元気アップ	実人数	6	6	5	3	3
	延人数	112	118	105	54	68
合 計	実人数	105	98	68	93	90
	延人数	6,419	5,596	5,375	5,518	6,313

年齢別利用者実人数

60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100歳-	実人数計
0 名	1 名	4 名	8 名	16 名	36 名	18 名	6 名	1 名	90 名



○在宅介護者の会

自宅において高齢者の介護をされているご家族に、介護に関する情報交換や体操を行い、リフレッシュを目的とした時間を過ごしていただく会の開催を目指す。

◇家族介護者教室

開催日時：令和6年11月26日（火）13:30～15:30 参加者 12 名

会 場：デイサービスセンターおおぐす荘

介護を続けるにあたり興味深い話や、自宅でできる体操を理論とともに学べて有意義な時間を持てたと好評いただいた。

○訪問介護

介護保険対象者、総合事業の訪問型サービス（現行相当・サービスA）、事業対象者の方々に身体介護、生活援助の提供を行った。

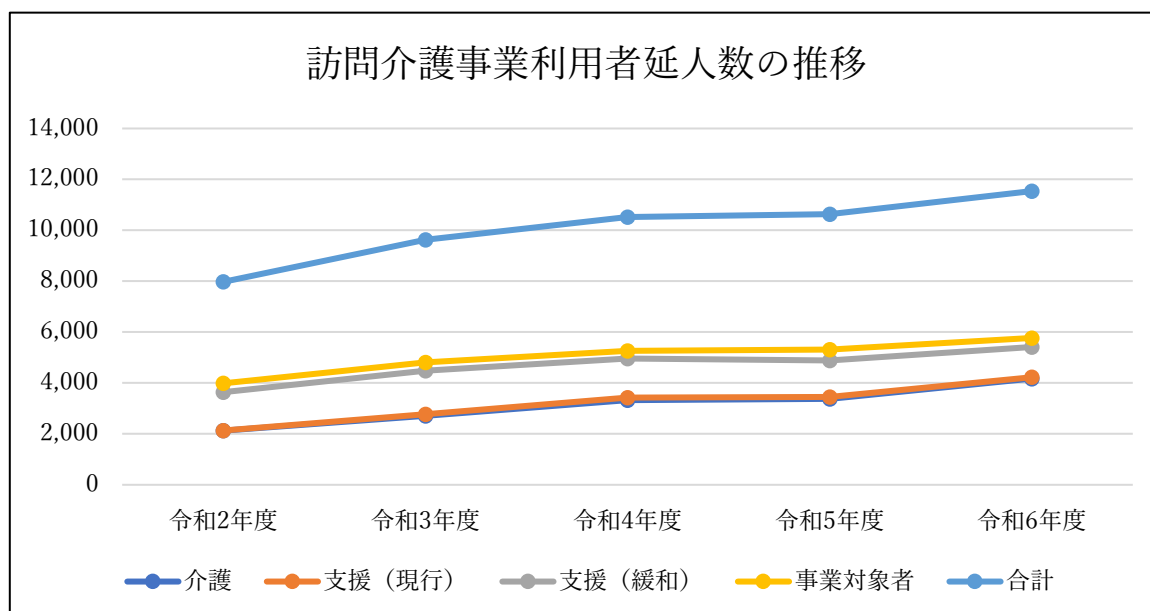
◇東みよし町ホームヘルプセンター

（令和6年度年間開所日合計246日、1日平均訪問数23人）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
介護	実人数	38	42	31	30	48
	延人数	2,128	2,712	3,330	3,381	4,173
支援（現行）	実人数	1	4	2	2	2
	延人数	5	57	96	66	53
支援（緩和）	実人数	35	35	28	23	28
	延人数	1,507	1,709	1,537	1,442	1,188
事業対象者	実人数	7	7	5	6	5
	延人数	347	336	296	429	356
合 計	実人数	81	88	66	61	83
	延人数	3,987	4,814	5,259	5,318	5,770

年齢別利用者実人数

60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100歳-	実人数計
0名	5名	7名	8名	8名	22名	23名	9名	1名	83名



○居宅介護

介護保険に関する相談、介護保険の申請代行、介護支援サービス計画の作成、居宅において日常生活を営むための調整を行った。

◇東みよし町居宅介護支援事業所

(令和6年度介護支援専門員3名 年間平均担当 85%)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
介護	実人数	未集計	未集計	未集計	111	95
	延人数	1,126	1,137	1,142	1,068	1,176

介護度別利用者実人数

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
人数	29名	45名	21名	0名	0名	95名

年齢別利用者実人数

60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100歳-	実人数計
0名	0名	11名	12名	8名	28名	23名	13名	0名	95名

○障害福祉サービス

生活介護…社会参加、自立の促進、生活改善、身体機能の維持向上を日中時間帯に提供している。デイサービスセンターさざんか荘で実施。

居宅介護…障害者総合支援法で訪問介護の利用が認められた障害者世帯等に訪問して日常生活上の援助を行っている。東みよし町ホームヘルプセンターで実施。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
生活介護 デイサービスセンターさざんか荘	実人数	2	2	2	2	0
	延人数	212	212	200	104	0
居宅介護 ホームヘルプセンター	実人数	9	11	8	10	10
	延人数	498	582	497	593	593
合 計	実人数	11	13	10	12	10
	延人数	710	794	697	697	593

年齢別利用者実人数

20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	実人数計
1名	2名	1名	0名	0名	2名	2名	1名	0名	1名	10名

東みよし町地域包括支援センター

事業の目的と重点項目

東みよし町の実情に即したまちづくりと地域包括ケアの実現に向けて、「介護予防」「総合相談」「権利擁護」「個別地域ケア会議からの地域課題の抽出」「介護支援専門員の資質向上」「認知症への取り組み」の6つの柱に重点を置き、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続できるよう、地域づくりに取り組んだ。中でも、地域のサロンに出向いて体組成計を活用し、フレイル予防の普及啓発活動を行ったことで、「のびのび教室」への参加者が増加し、より幅広い事業展開につなげることができた。また、認知症への理解を深め、支援のあり方を検討する中で、地域全体で支える体制づくりを目指し、ネットワークの強化にも努めた。

その中で、困難な事例への早期対応、重度化や孤立の防止を目的に、地域ケア会議を活用し、多職種連携がより深まった。ケアマネジャーへの支援体制も整い、関係機関との情報共有がスムーズに進むようになった。また地域住民の理解や意識も少しずつ高まってきた。

◎ 包括的支援事業

I. 介護予防ケアマネジメント業務

介護予防教室等の周知や、教室での介護予防の情報提供及び地域の実態把握を行うことで、介護予防普及啓発と健康増進活動の支援を行った。

(1) サービスC対象者の訪問・相談 [訪問・相談数]

区 分	訪問	来所	電話	合計
のびのび教室	28	0	0	28
訪問型（専門相談）	2	0	0	2
計	30	0	0	30

(2) サービスC対象者に係る介護予防ケアプラン

作成数	区 分	保健師等	社会福祉士	主任介護支援専門員	センター長	合計
	のびのび教室	12	5	5	6	28
	訪問型（専門相談）	2	0	0	0	2
	その他	0	0	0	0	0
	計	14	5	5	6	30

評価数	区 分	件数
	プラン継続	0
	プラン変更	0
	終了	30

(3) 介護予防事業実施

区 分	実施回数	参加者数
講演会（介護予防教室）等での介護予防についての教育	42	521
（内訳） サロン	37	414
認知症サポーター養成講座	4	63
介護予防講演会	1	44
相談会での介護予防相談支援	0	3
のびのび教室	9	188
のびのび教室フォローアップ	2	36
計	53	748

Ⅱ. 総合相談支援業務、権利擁護業務

地域の高齢者が、住み慣れた場所で安心してその人らしい生活を続けられるよう支援することを目的に、以下の取り組みを実施した。

1. 高齢者ご本人やそのご家族、近隣住民などから寄せられる さまざまな相談に対応
2. 相談内容に応じて、適切な情報の提供・関係機関の紹介・つなぎを実施
3. 支援を通じて、高齢者の権利擁護（虐待防止等）

（１）相談件数

区 分	件数	夜間等対応		
		平日（昼間）	17：30～8：30	休日（昼間）
①介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	327	326	0	1
②権利擁護（成年後見制度等）に関すること	3	3	0	0
③高齢者虐待に関すること	4	4	0	0
④その他	72	72	0	0
合 計	406	405	0	1

（２） 相談内訳 ※①②③④は１の相談内容区分による（関係機関は行政・医療・保健・福祉関係）

担当者別 相談内容		相談方法			相談者				合計
		訪問	来所	電話等	本人	家族	地域	関係機関	
保健師 等	①	9	21	96	16	83	2	25	126
	②	0	0	0	0	0	0	0	0
	③	0	0	0	0	0	0	0	0
	④	0	1	35	6	9	6	15	36
社会 福祉士	①	17	16	82	29	50	4	32	115
	②	0	0	3	0	2	0	1	3
	③	0	1	2	0	0	0	3	3
	④	0	2	18	3	4	0	13	20
主任 介護 支援 専門員	①	6	24	55	10	44	2	29	85
	②	0	0	0	0	0	0	0	0
	③	0	0	1	0	0	0	1	1
	④	1	1	15	1	2	3	11	17
計		33	66	307	65	194	17	130	406

出張地域包括支援センター（相談コーナーの設置）

令和6年10月26日	東みよし町まつり	参加者・相談者数	98名
令和7年3月9日	防災フェスティバル	参加者・相談者数	178名

（３） 地域包括支援ネットワーク構築

地域の実情に応じたネットワークの構築を目指し、地域住民や関係機関、民間事業所と連携を図りながら、早期発見および見守り体制の強化に取り組んだ。

- ・地域ケア会議等の開催 開催回数 7回 参加者数 75名
- ・さんカフェの開催 開催回数 10回 参加者数 158名
- ・住民ボランティアやサロンとの協力体制の構築

(4) 実態把握調査

訪問等を通じて高齢者の実態を把握し、サービス利用の支援や情報提供、ネットワークを活用した見守り活動等へつなげるための支援を実施した。

事業別調査状況

事業名	件数	方 法
実態把握	178	訪問による実態把握
緊急通報装置貸与事業	0	東みよし町実施の高齢者在宅福祉事業
運転免許証返納者への対応	8	生活支援連絡制度
合 計	186	

Ⅲ. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、個々の状況に応じた適切なケアマネジメントを継続的に実施した。また、ケアマネジャーの資質向上を目的に、日常的な個別指導や支援困難事例への助言・指導も行った。医療・介護・福祉との連携体制を強化し、切れ目のない支援の提供を目的に取り組みを行った。

(1) 包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築

【関係機関との連携づくり】

	日	内 容	参加者数
1	4月24日	令和6年度事業打ち合わせ	8
2	4月16日	認知症初期集中支援チーム北條病院院長へごあいさつ	1
3	5月27日	SOS見守りネットワーク会議	12
4	6月4日	福祉教育三加茂中学校1年生	83
5	9月20日	医療と介護・多職種連携研修会	33
6	9月26日	三好市・東みよし町障害者定例支援会議	32
7	10月15日	オレンジスマイル広報活動	95
8	10月7日	SOS見守りネットワーク会議	16
9	10月29日	SOS見守りネットワーク会議	14
10	11月25日	三好市・東みよし町消費者被害防止講演会及び連絡協議会	37
11	11月28日	第4回 三好市・東みよし町障害者定例支援会議	35
12	12月20日	専門職スキルアップ研修	30
13	12月12日	認知症疾患医療連携協議会	21
14	2月25日	東みよし町くらしサポートネットワーク定例検討会	15
15	3月5日	権利擁護支援検討会議	9

【医療機関との連携体制づくり】

	日	内 容	参加者数
1	9月12日	認知症疾患医療連携協議会	20
2	11月8日	認知症初期集中支援チーム員会議	6
3	12月14日	在宅医療・介護連携推進事業	38

【地域のインフォーマルサービスとの連携づくり】

	日	内 容	参加者数
1	4月27日	足代長寿会定期総会	33
2	7月23日	オレンジスマイル座談会	23
3	10月26日	東みよし町まつり	98
4	10月29日	認知症捜索・声かけ模擬訓練	45
5	11月26日	家族介護教室	12
6	3月21日	オレンジスマイル座談会	15
	通年	町内各サロン活動場所への参加	443

○グループホーム及び小規模多機能運営推進会議への参加回数 16回 126名

(開催場所 GHリリーハウス・GHこころ・GH健祥会いこい)

(2) 介護支援専門員に対する個別支援

	区 分	実施回数	担当		
			保健師等	社会福祉士	主任介護支援専門員
1	支援困難事例を抱える介護支援専門員への対応	12	0	7	5
2	個別事例に対するサービス担当者会議開催支援	7	0	7	0
3	質の向上のための研修	6	4	2	3
4	介護支援専門員のケアマネジメントの指導	0	0	0	0
5	介護支援専門員同士のネットワーク構築	1	0	0	1
6	介護支援専門員に対する情報支援	1	0	0	1
7	居宅サービス事業所等への研修等の働きかけ	4	0	0	4
8	その他（委託事業所説明会等）	6	1	0	5

- ・ 担当者会議開催支援 開催回数 7回 参加者数 34名
- ・ 資質向上のための研修会の開催・参加 開催回数 3回 参加者数 76名
- ・ 委託についての相談 開催回数 5回 参加者数 12名
- ・ 介護支援専門員に対する個別支援 実施回数 28回

◎ 指定介護予防支援

I. 介護予防給付・総合事業のケアプラン

介護認定において要支援認定者および事業対象者に対し、介護予防を目的としたケアマネジメントを実施し、自立支援および生活機能の維持・向上を図った。

(1) 介護予防支援給付管理状況 (件)

実施期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

作成数	年度分			月遅れ			合計	月平均
		初回	継続	新規	初回	継続		
要支援1	6	5	263	0	0	1	275	23
(内委託分)	0	0	10	0	0	0	10	1
要支援2	25	10	1,035	11	1	27	1,109	92
(内委託分)	1	0	32	0	0	0	33	3
合計	31	15	1,298	11	1	28	1,384	115
(内委託分)	1	0	42	0	0	0	43	4

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業給付管理状況 (件)

作成数	年度分			月遅れ			合計	月平均
	新規	初回	継続	新規	初回	継続		
事業対象者	0	2	121	0	0	0	123	10
(内委託分)	0	0	10	0	0	0	10	1
要支援1	1	1	169	0	0	1	172	14
(内委託分)	0	0	1	0	0	0	1	0
要支援2	12	6	622	7	0	4	651	54
(内委託分)	1	2	9	0	0	0	12	1
合計	13	9	912	7	0	5	946	79
(内委託分)	1	2	20	0	0	0	23	2

※サービス担当者会を実施した作成プラン数

	介護予防	総合事業	合計
件数(件)	264	173	437

(3) 介護予防支援業務委託管理

委託事業所別件数 (令和7年3月末現在)

事業所名		件数
管内事業所 (5)	健生西部診療所	1
	健祥会ケアプランセンターみよし	3
	合同会社 あさひ	1
	村山内科指定居宅介護支援事業所	1
	合同会社 はちどり	1
合 計		7